

平成18年度 容器包装廃棄物3R 推進モデル事業 一覧

番号	事業名	事業主体 ()内は実施地域	事業概要
1	モデル市町村のリターナルプルびん分別収集有効性・効率性検証事業	ガラスびんリサイクル促進協議会 (東京都目黒区、神奈川県大和市、京都市、沖縄県那覇市)	自治体の先進的なリターナルプルびんの収集について、その分別収集、選別、保管、引渡しまでのフローを把握するとともに、市町村のコスト、消費者の利便性や意識等の課題を把握し、市町村の分別収集の有効性・効率性の検証を行う。
2	早稲田大学キャンパスとその周辺地域における3R推進コミュニティモデル事業	早稲田商店会・早稲田大学環境総合研究センター (東京都新宿区)	大学と地域商店街の協働により、地域通貨の仕組みを活用して、地域におけるレジ袋削減行動や空き缶やペットボトルの回収、弁当容器のリユースの取組等の3R推進活動を活性化し、その効果を数値的に把握・評価する。
3	レジ袋の有料化等による使用削減推進モデル事業	杉並区レジ袋削減推進協議会 (東京都杉並区)	地域自主協定によるレジ袋有料化を実施し、その効果・影響等を検証する。また、様々な主体の協働によるレジ袋削減3R運動を推進するとともに、これまで推進協議会で進めてきたレジ袋対策のノウハウと課題を取りまとめる。
4	リターナルプルびん利用促進モデル事業	リターナルプルびん利用促進モデル事業推進連絡会 (神奈川県茅ヶ崎市)	自治体、商店会・小売酒販組合、地元消費者団体等が協働で推進連絡会を組織し、Rマークびんを含むリターナルプルびんの利用(販売)促進、販売店ルートでの回収促進等を図り、その効果、各主体の役割について把握・検証する。
5	きめ細やかな分別収集に係るモデル事業	京都大学環境保全センター (京都市)	プラスチック製容器包装について、よりきめ細やかな分別収集をモデル的に実施し、収集量と質、再商品化の品質向上効果等を検証する。また、市町村・消費者の負担、消費者の協力の状況等についても調査し、課題を把握・検証する。
6	自主協定により進めるレジ袋削減等3R推進モデル事業	レジ袋削減等3R推進協議会 (大阪府池田市)	商工会議所、市場・商店会連合会、市民団体等で推進協議会を組織し、レジ袋等の3Rを推進する。特に、商工会議所、商店街等と市との自主協定によるレジ袋削減運動、小学校によるマイバッグ持参状況調査や子供1日推進員事業等を実施する。
7	容器包装廃棄物の排出抑制を目指す簡易包装普及推進モデル事業	特定非営利活動法人ごみじゃぱん (神戸市)	消費者、事業者、大学、行政が協働で、情報提供とインセンティブの設定による簡易包装商品の普及を図る検証事業を行い、当該商品の販売実績、消費者の行動の変化について把握・分析する。